

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択必修領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
児童生徒の情報活用能力育成 (教員のICT活用指導力の向上)		小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成29年8月17日(木)	50人	伊藤 剛和(奈良教育大学次世代教員養成センター・教授) 米田 浩(尼崎市立立花西小学校・校長) 坪田 城達(川西市教育委員会学校指導課・指導主事)		
会場				
奈良教育大学				
<b>【講習の概要】</b>				
項目	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。))			
内容	「教員のICT活用指導力規準表(JAPET2008策定)」のうち、「教育の情報化」「情報教育」「ICTを活用した授業」「情報モラル教育」について、系統的・体系的に扱います。 主に義務教育における児童生徒の情報活用能力を育む実践手法を獲得することを目指した講習を実施します。			
<b>【小テーマ①】「教育の情報化」と情報教育</b>			3. 0H	(担当講師:伊藤・米田・坪田)
講習形態	講義・演習形式			
講習内容	「教育の情報化」の方向性を踏まえ、「情報教育」のねらいを達成するために、義務教育における体系的・系統的な教育活動の意義について理解する。具体的な実践事例を紹介するとともに、受講者相互の情報交換にて、指導力の向上を目指す。			
到達目標・確認指標	以下の項目に関する内容を扱い、全体を通じた講習の後、理解度に関して試験にて確認する。 ・教育の情報化と情報教育の関係を理解している ・情報教育の目的を理解している ・学習指導要領における情報教育のねらいについて理解している			
キーワード	教育の情報化、情報教育、児童生徒の情報活用能力、教員のICT活用指導力			
<b>【小テーマ②】児童生徒の情報活用能力を高める情報モラル教育</b>			3. 0H	(担当講師:坪田・米田・伊藤)
講習形態	講義・演習形式			
講習内容	「教育の情報化」の方向性を踏まえ、現代的な課題である「情報モラル」の位置づけを理解するとともに、家庭や地域との連携で取り組む意義、体系的な指導の必要性を元に、児童生徒の情報活用能力を高める実践事例を紹介しつつ、具体的な指導案をグループで考える演習を行なう			
到達目標・確認指標	以下の項目に関する内容を扱い、全体を通じた講習の後、理解度に関して試験にて確認する。 ・学習指導要領における情報モラル教育の必要性を理解している ・道徳と情報モラル教育の関連を理解している ・学校や地域全体で取り組む重要性を理解している ・各教科や生徒指導において情報モラルを指導する必要性を理解している・教科における情報モラルの指導例を紹介できる ・児童生徒の実態を踏まえた指導の重要性を理解している			
キーワード	教育の情報化、情報教育、情報モラル教育、児童生徒の情報活用能力、教育のICT活用指導力			
試験方法	講習後の知識確認テストは、講習内容の知識理解部分を確認する選択式を中心とした問題で実施する。研修テキスト中から、情報教育(児童生徒の情報活用能力)を中心に出題する。			
成績評価の方法・基準等	小テーマ1: 確認テスト(30点)、演習活動(20点)で配点します。演習は、次の4段階の評価基準「ワークショップに積極的に参加し、意見や事例を提案するとともに、意見交流で他者の実践アイデアを吸収する姿勢が見られ、まとめ役を担った(20点)」、「ワークショップに積極的に参加し、意見や事例を提案するとともに、意見交流にも参加した(15点)」、「研修テキストや紹介した教材の事例をそのまま提案するが、意見交流やまとめ活動、実践アイデア提案には積極的に参加した(10点)」、「話し合いには受動的な参加だが、学び合う姿勢が見られた(5点)」を目安として講師が評価する。 小テーマ2: 確認テストは、知識理解部分(30点)と、演習で作成した指導案や他のグループが紹介した指導案を要約した指導案提案(20点)で配点する。作成した指導案は、「情報モラル教育のねらいを盛り込んだ指導案が考えられていて、始動時に利用する教材などを具体的に紹介できている(20点)」、「情報モラル教育のねらいを盛り込んだ指導案が考えられている(15点)」、「情報モラル教育のねらいが明瞭でないか、指導学年の実態に沿っていないが、要素が盛り込まれた指導案が考えられている(10点)」、「情報モラル教育の要素が盛り込まれた活動案が考えられている(5点)」を目安として講師が評価する。  合計点数で60点以上を合格とする。			
備考	演習中は、運営側から配布される受講者IDを身につけ、講師が確認できるように配慮願います。			